

事業名	NPO連携推進事業	事業の目的	NPOの活動が活性化されるとともに、県と対等かつ自由な立場での協働が促進されるように、県との協働が可能な分野についてNPOからの提案を公募し、事業実施を委託する。	事業期間	平成19年度 ） 平成 年度
-----	-----------	-------	---	------	----------------------

[事業の実施状況]

(単位：千円)

区分	事業主体	対象	事業内容	投入指標	19年度	20年度	21年度	22(予算)		
子育て支援キャラバン事業 デートDV防止啓発事業 ワンステッププログラム	県	県民	障がい者支援NPO等のガイドブック作成、保護者を対象としたペアレントトレーニング開催、ペアレントトレーニングを通じた保健師と教師の連携推進 大学生等が参加するプロジェクトチームによるデートDV防止出前講座開催、アンケートによる実態調査、報告書作成 市町村適応指導教室と連携し不登校児童等を対象に冒険教育を用いた仲間作り、コミュニケーション等のプログラムや保護者参加の野外プログラム実施	決算額	5,387	4,722	4,402	3,405		
				財 源 内 訳	国庫支出金					
					一般財源	5,387	4,722	4,402	3,405	
					職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	
					人件費	6,000	6,000	6,000	6,000	
					合計	11,387	10,722	10,402	9,405	

[事業の成果等]

県事業へのNPOの参画及び県とNPOとの協働により、障がい者支援団体を広報するためのガイドブック作成やペアレントトレーニング、デートDVについてのアンケートによる実態調査、不登校児童等を対象に冒険教育を用いた仲間作り、コミュニケーション等のプログラム実施など、幅広い県民ニーズに対応したきめ細かな企画立案、事業実施が行われるとともに、NPOの活動の活性化が図れた。

[成果指標・実績]

(単位：事業)

指標の別	指標の内容	達成度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終達成 (年度)	評価	備考
活動指標	提案公募型事業数	目標値	5	5	3	3		達成	
		実績値	5	5	3				
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%				

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	21年度までの主な取組状況	効率性指標	左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている(拡大困難)	・NPOへの委託による協働事業の実施及び協働事業の進捗管理(遂行状況報告会、事業成果報告会の実施)	3,467千円/事業	21年度決算額合計 / 提案公募型事業数

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	NPOとの協働が可能	県民の多様なニーズに応じていくために、県政推進の一手段として県とNPOとの協働の必要性は高まっており、県実施協働事業のリーディング的な取組としてNPOと協働した県による実施が必要である。

[総合評価]

方向性	見直し(22年度) 事業内容の変更
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域レベルにおける協働推進のため、地域ネットワーク版協働型委託事業を実施予定 ・NPO活動への理解を広げるため、NPO理解度促進講座等の研修機会の拡充